



NEWS RELEASE

2018年5月1日

IWC 2018「SAKE 部門」455 社、1636 銘柄のエントリー



世界で権威あるワイン品評会を主催する、インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）「SAKE 部門」審査会への応募が 2018 年 4 月 19 日にロンドンで締め切られ、今年は 455 社より 1636 銘柄（出品数）のエントリーがありました。

今年のインターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)「SAKE 部門」ブラインド・テイasting品評会は、5 月 13 日から 5 月 18 日にかけて、山形にて行われます。

審査員は、日本のほかに、イギリス、フランス、カナダ、オーストラリア、スウェーデン、アメリカなどからも来日し、国際色豊かな顔ぶれとなっております。総勢 60 名の業界関係者で、東洋と西洋の嗜好を持つ者が半分ずつという比率で審査員が選ばれている点もユニークかつ特徴的です。どちらの嗜好に偏ることなく公平な審査が行われるなど、海外でも支持される日本酒が求められています。

品評会では、カテゴリーごとにエントリーされた、1636 各銘柄の日本酒を金賞、銀賞、銅賞、推奨酒に選定し、更に金賞の中からトロフィーが授与されます。トロフィー授与式は 5 月 18 日にホテルメトロポリタン山形で行われ、「IWC チャンピオン SAKE」に認定される一品は、2018 年 7 月 10 日にロンドンで開催される IWC アワードディナーで発表します。

本大会で「IWC チャンピオン SAKE」に選ばれると、海外のメディアに取り上げられ、海外マーケットで自社ブランドの知名度を向上させ、さらには販売代理店が見つかり販路が拡大する可能性もあり、注目されています。

5 月 18 日は、テイasting、授賞式 & アワードランチ、記者発表会の 3 部門に分かれ、今年のトロフィー授賞酒が
All International Wine Challenge news can be found at our [Digital Newsroom](#)



NEWS RELEASE

披露されます。2018 年はどこの日本酒がトロフィーに輝くか、5 月 18 日の IWC アワードランチにご期待ください。

審査会の詳細については、こちらのウェブサイトをご参照ください。

<http://www.internationalwinechallenge.com>

インターナショナル・ワイン・チャレンジ (IWC) について

設立から 35 周年をむかえるインターナショナル・ワイン・チャレンジは、もっとも厳しい審査を行うことで知られる、世界でトップクラスのコンペティションです。IWC はすべてのワインをブラインド・テイस्टイングし、そのスタイル、生産地域、ビンテージに忠実に作られているかどうかを判定します。ワインはすべて、最難関のワインの資格、マスター・オブ・ワインの称号の保有者を含む最低でも 10 名の審査員により、3 回の別々のテイस्टイングを経てメダルが授与され、アワードには金賞、銀賞、銅賞のメダルの他に、推奨酒 (Commended) があります。IWC は、素晴らしいワインを消費者に届けることを使命として活動しており、受賞ワインのラベルにあるメダルは、最高の品質であることを保証しています。

IWC「SAKE 部門」審査会について

IWC「SAKE 部門」審査会は 2007 年に始まり、今では何百もの清酒がエントリーする審査会になりました。昨年は日本、ノルウェー、米国からエントリーがありました。IWC では日本酒の専門家と多数契約し、毎年のコンペティションを実施しています。「SAKE 部門」審査会は、インターナショナル・ワイン・チャレンジ同様、厳格なプロセスに準拠して実施され、各審査員の豊富な経験も相まって、同種のコンペティションの中ではもっとも信用度の高いものとして知られています。

詳細に関しましては以下までお問合せください。

IWC「SAKE 部門」審査会 PR 事務局

アビアレップス株式会社

田代・喜多尾

Tel: 03- 3225-0008

Email: iwc_sake2018.jp@aviareps.com

International Wine Challenge

Chris Ashton

Tel: 07884 063405

Email: Chris.Ashton@wrbm.com